

# 窓の向こうは水墨画の世界 心ほぐれる冬ごもりの宿

賑やかな土湯温泉街から少し離れた森の中にひっそり佇む隠れ宿「土湯別邸 里の湯」。広がる冬景色を堪能しながら、心ほぐれる極上のプライベート時間を過ごすことができます。



四季折々の美しい自然を間近に感じられる「青藍」の半露天風呂。



露天風呂へと続く木の外廊下。物語の世界にいるような幻想的な雰囲気だ。



綿入り半纏を羽織り、館内でのんびり過ごす。床暖房で足もほかほかだ。



季節の移ろいを描く会席料理。この時期は虎河豚白子、蛤、しらす、竹の子など、四季を舌と目で楽しめる。



二間続きの本館客室「こぶし」。障子を開けると目の前に水墨画の世界が広がる。

## 3つの貸切風呂で 自然との一体感を満喫

暦の上では立春を過ぎましたが、土湯温泉「土湯別邸 里の湯」ではまだまだ冬らしい寒さが続きます。

除雪された道路を走り、車は一路、宿へ。溪谷の斜面に建つ宿へ辿り着くには、つづら折りが続く坂道を下る必要があります。そこで冬期間は坂の上の駐車場を利用することになります。到着次第、宿の車が迎えに来てくれます。

チェックインは14時。靴を脱いで上がると、そのまま客室へ案内されます。客室は、離れた1棟を含むわずか全9室。抹茶と自家製の和菓子をお楽しみながらチェックインを行います。この時期、窓が切り取るのは静謐な水墨画。部屋にいながらにして森に包み込まれるような感覚を味わえます。

浴衣に着替えたら、綿入り半纏を羽織って貸切風呂へ。長い回廊を下った先に待つのは溪流沿いの露天風呂「深碧」。轟々と流れる沢の音、手つかずの原生林、そして源泉かけ流しの温泉が日頃の疲れを癒してくれます。

古代檜でしつらえられた内風呂「樫染」、半露天風呂付きの「青藍」。3つの浴場は完全貸切制になっており、プライベートな湯浴みを満喫できます。空いてれば何度でも予約できるので、ゆるやかな午後、深閑とした夜、清澄な朝と、時間帯によって異なる趣を堪能するのも良いでしょう。

夕・朝食は2名までは部屋食、3名以上は個室会場で供されます。食材の走り、盛り、名残りをすくい取った日本料理は、丁寧な仕事で施された端正な味わいが好評です。床暖房で暖かいラウンジにはソフトラック・アルコール、アイスなどが用意されており、湯上りのひと休みにもってこい。奥の小部屋には雑誌・書籍やCDが揃い、自由に利用可能。CDプレイヤーの貸出しもあり、客室や食事会場へ持ち出すこともできます。

チェックアウトは10時30分。1日として同じ景色はない一期一会の自然と宿の温かさもですが、心と身体をほぐしてくれたい。他のゲストと顔を合わせることも少ない里の湯で、極上の冬ごもりをお楽しみください。

土湯別邸 里の湯 ☎024-595-2146

福島県福島市土湯温泉町悪戸尻27-2 <https://www.satonoyu.com/>



スガワラホールディングス

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2丁目5番4号 TEL.022-782-5777

